

## 投稿規程

「東京大学大気海洋研究所大槌沿岸センター研究報告」(旧東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター研究報告)は東京大学大気海洋研究所大槌沿岸センターより発行される出版物で、学術論文並びに当センターで行なわれた研究活動の成果などを紹介することを目的とする。本誌に掲載する記事は原著論文、総説、各種観測の結果などである。

### 原稿の書き方

使用言語:使用言語は日本語とする。

原稿のスタイル:原稿の本文は Word あるいは PDF により作成し、図や表は Word, Excel, PowerPoint, TIFF, EPS, PDF 形式のいずれかで作成すること。縦長 A4 判用紙に、横書き、一段組、ダブルスペース程度の行間を開け、用紙の周囲には 2.5 cm 程度の余白をとること。文字は 10~12 ポイントの読みやすい大きさとし、全てのページ下余白の中央にページ番号を付け、図表を除く本文のページ左余白に行番号を全体を通して付けること。原稿の構成:原著論文および総説の原稿は、タイトルページ、要旨、本文、謝辞、引用文献、表、図の説明、図、がこの順で含まれるが、タイトル、要旨については英文のものを、著者名についてはローマ字での表記も併記する。場合によりその後写真図版(plate)をつけることができる。その他の原稿の構成は、原著論文に準ずるが、タイトルページ、本文以外の構成は自由とする。表、図の説明、図以外のすべてのページには通しページ番号をつける。

タイトルページ:最初のページには、タイトル、著者名、所属、責任著者の所属住所および E-mail アドレスのみを明示する。

要旨:和文要旨は 400 字程度とする。

本文:図、表の挿入位置を本文余白に指定する。指定のない場合、編集委員会で適当な位置に割り振る。

引用文献:本文中の引用は、日本語の場合、「渡辺(1990)は」、「渡辺(1990a, b)は」、「渡辺(1990, 1991)は」、「渡辺・鈴木(1990)は」、「渡辺ら(1990)は」、「(渡辺 1990)」、「(鈴木 1992, 渡辺 1990, 1991)」などとする。英語の場合、「Smith(1990)」、「Smith and Jones(1990a, b, 1991)」、「Smith et al.(1990)」、「(Jones 1992, Smith 1990, 1991)」などとする。

引用文献での配列は以下のルールに従う。1) 著者のアルファベット順。2) 同一第1著者によるものが複数ある場合、単独著者によるものを年号順、2著者によるものを第2著者のアルファベット順、3著者以上によるものを年号順に並べる。3) 著者名・年号共に同じ場合は a, b などをつけて区別する。4) 著者が3人以上で、第1著者・年号が等しいものも a, b などをつけて区別する。5) 日本語の文献は最後にまわさず、著者名をアルファベットで書いたときの順番に従う。他は以下の例に従う。

Araki I, Tagawa K, Kusakabe T, Satoh N (1996)

Predominant expression of a cytoskeletal actin gene in mesenchyme cells during embryogenesis of the ascidian *Halocynthia roretzi*. Dev Growth Differ 38: 401-411

岩田宗彦, 平野哲也 (1991) 浸透圧調節. 魚類生理学

(坂沢靖男, 羽生 功編), 恒星社厚生閣, 東京, p 125-150

Leatherwood S, Reeves R (1983) The Sierra club handbook of whales and dolphins. Sierra Club Books, San Francisco/CA.

Morisawa M, Oda S, Inoda T (1991) Initiation of sperm motility by osmolality and calcium in Teleosts and Amphibia. In: Baccetti B (ed) Comparative spermatology 20 years after. Seronro symposia publications vol. 75. Raven Press, New York, p 507-511

武田正倫, 小西光一 (1991). 大槌湾産カクレガニ類. 大槌臨海研究センター報告 17: 29-39.

表:表は1つずつ別紙とし、表番号とタイトルをつける。タイトルは原則的に英語とする。縦線は使用しない。

図の説明:図および図版の説明はそれぞれ別紙にまとめて書き、原則として英語とする。

図および図版:図および図版はそのまま製版できる状態になっていなければならない。印刷時の大きさを指定することができる(1 カラム, 約 8cm; 1.5 カラム, 約 12cm; 2 カラム, 約 17cm など)。印刷時の縮小を考慮し、図中の文字が小さくならないよう注意する。図の余白または裏に、図の番号、上下の別、著者名を明記する。カラー図版の掲載は、製版・印刷代の全額が著者負担となる。

単位と符号:単位は国際単位系(SI)に準じる。単位などの符号は以下の例にならう。組立単位に関しては負のべき指数に対し、スラッシュ(/)は用いない。一般:sec, min, h, kg, g, mg, m, km, mm, cm, Hz, kHz, L, mL, mol, ha, °C. 組み立て:m sec<sup>-1</sup>, mg L<sup>-1</sup> kg m<sup>-1</sup> sec<sup>-2</sup>. 統計:P, X, n, SD, SE, df, CV, r, t, F, U, Z.

### 投稿

原稿は電子ファイルを E-mail に添付する形で送付するのが望ましいが、容量が 20 Mb 以上になる場合は大容量ファイル転送サービスなど利用するか、USB メモリなどのメディアに保存しての送付が望ましい。

査読:原著論文ならびに総説は、編集委員会ならびに委託された査読者による査読を受け、各種観測の結果については編集委員会ならびに必要であれば委託された校閲者による校閲を受ける。修正の必要があるとされた原稿は、査読者または校閲者の意見と共に著者に返送されるので、著者は必要な訂正を行なった後、速やかに再提出する。

### 校正と印刷

校正:初校のみ著者が行い、再校以降は編集委員会の責任において行なう。校正は印刷ミスについてのみ行い、本文、図表の変更は原則として認めない。

印刷:刷り上がり規格は A4 版で、500 部を印刷する。

別刷:別刷は全額著者負担。代金はページ数、写真の有無などにより異なる。

#### 著作権

出版された原稿の著作権は、すべて東京大学大気海洋研究所大槌沿岸センターに帰属する。図表等の転載には編集委員長の許可を必要とする。また、出版された原稿は、東京大学学術機関リポジトリ「UTokyo Repository」上での公開を原則とする。

#### 原稿送付先

E-mai: [jaoyama@aori.u-tokyo.ac.jp](mailto:jaoyama@aori.u-tokyo.ac.jp)

〒028-1102 岩手県上閉伊郡大槌町赤浜一丁目 19 番  
8 号 東京大学大気海洋研究所 大槌沿岸センター「国  
際沿岸海洋研究センター研究報告」編集委員長宛。